

WCCM でのアンケートにより得られた各施設の現状調査報告

【はじめに】WCCM は、西日本を中心に活動する心臓カテーテル検査(以下心カテ)に関わる全てのコメディカルのために情報提供の場を提供する団体である。【方法】セミナーの参加申し込み時に主に自施設の心カテに関する現状についてのアンケートを実施している。今回、2018 年に開催した 3 セミナーについて結果をまとめた。対象は参加者のうち心カテ治療にカテ室にて直接関わる方とし、各施設 1 名の回答をピックアップした。調査対象となった施設は 189 施設であった。【調査】カテスタッフの役割等を調査している。カテは主治医が施行するが 78.5%・主治医ではなくカテ担当医が施行するが 20.8%であった。補助循環の準備は約 90%の施設が臨床工学技士が行なっている。看護師のカテ中の役割は施設間で違いがある結果となった。申し送りは約 91%・記録は約 89%の施設が看護師の役割であると答えた。その他の役割については発表にて示す。その他各施設の現状について調査した結果を発表にて示す。【考察】WCCM セミナー開催時に、参加者に自施設の取り組みやカテ室の状況についてアンケートを行った。結果では 2018 年の診療報酬改定による変化も認められた。我々 WCCM はセミナー開催だけが目的ではなく、心カテスタッフの情報共有の場、またカテスタッフの知識技術の共有により、より安全で安心な心カテ検査治療を提供することができる一助となればと考え活動している。【結語】今後も各施設に有益な情報を発信していきたいと考えている。